

単位制課程News

秋号

単位制Q&A

一回生の昼休みにお邪魔しました!

お邪魔しま〜す!



Q 1クラスは何人ですか?

A 定員は1クラス40人です。回生によって多少違いますが、だいたい1クラス38人くらいです。



Q 部活動はできますか?

A 部活動は学年制・単位制合同で行っています。全員が入部するわけではありませんが、文化部でがんばっている単位制の人は多いです。もちろん運動部で活躍している人もいます。



Q クラスは全部で何クラスですか?

A 1回生、2回生、3回生、それぞれ2クラスあります。4回生以上は同じクラスですので、全部で7クラスあります。

Q 単位制全体について一言。

A 教室も職員室も、とにかくアットホームな雰囲気です。丸一日授業を受けるのは無理かと思っていましたが、最初は自習室で休みながら、だんだん慣れていきました。話のあう人も多くて、遠慮せずに話せるのがいいと思います。



Q 単位制と学年制はどう違うのですか?

A 単位制とは、必修科目を含む74単位以上の単位を取得すると卒業できるというシステムです。1単位は週に1時間授業があるという意味です。取得した単位を積み上げていくことができ、留年がありません。

Q クラスの雰囲気はどうですか?

A 中学校で同じような体験をしている人が多くて、気がねなく話ができます。最初はなじめるか不安でしたが、今は友達もたくさんできて、毎日楽しく過ごしています。



Q 中学時代にやっておくといい勉強は何ですか?

A 英語や数学の基礎的な勉強はしておいたほうがいいと思います。特に英単語は覚えておいたほうがいいですね。

Q 先輩、後輩の関係はどうですか?

A 入試のときに、先輩から「緊張しなくていいよ」と話しかけてもらって、すごく安心しました。先輩は怖いというイメージがあったけれど、単位制に入ってみるとみんな優しく、先輩にも友達がたくさんできました。

ユニークな授業で暑さを吹き飛ばしたよ!

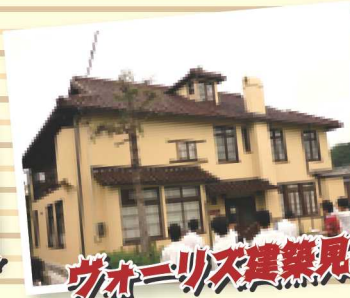
夏休み中にもハイブリッド授業が行われました。各教科、フィールドワークということで「世界史でトンカツづくり」「図書館へ行く」「ヴォーリス建築見学」「空気砲・パークラフトづくり」などいろんな内容がありました。聖書の授業では、同志社大学を訪ね、韓国の国民的詩人ユン・ドンジュのお墓を訪ね、生き方について考えました。



空気砲



ペーパークラフト



ヴォーリス建築見学



トンカツ

OPEN CAMPUS 2010

近江兄弟社高等学校 単位制課程 11月7日 日・12月4日 土

オープンキャンパス開催

- 学校紹介 ■ 入試までの流れ
- 体験発表 ■ 施設見学 ■ 個別相談

「Jump in 単位制で輝いた在校生の姿」

去る9月4日(土)に約200名の中学生・保護者の参加で単位制学校見学会が行われました。
 在校生全員による「手紙」の合唱のあと、生徒代表による学校紹介や体験発表、在校生と一緒に授業体験などを楽しみました。参加した中学生からは「楽しそうで あ、なんかいいなあ、と思いました」「個性豊かな人ばかりと聞いて、この学校にすごく興味が沸きました」などの感想が寄せられました。



「まずはやってみることで光が見えてくる」

— 卒業生が語った“単位制での学び” —

09年3月に卒業した水田貫くん(大阪観光専門学校ホテル学科)は、高校でのボランティア体験をきっかけにホテルマンを目指し、見事就職内定を勝ち取ったことを話してくれました。
 また中川かなみさん(関西外国語大学英米語学科2年)は、高校での留学体験から外国語大をめざし、大学でも“みんなと違う”フランスに留学し、「笑顔」で乗り切った体験を生き生きと語ってくれました。

「子どもを信じて見守って行きたい」(保護者感想より)

教育講演会では「子どもの危機は、絆を深めるとき」と題して、京都・山科の親子支援ネットワーク「あんだんて」代表の福本早穂さんに語っていただきました。

参加者の感想より

●「子どもと寄り添う大切さを再認識しました。単位制が生徒にとって“居場所”になっていることが良くわかりました」

●「私たちのことを話してくださっているようで、涙がこぼれました。子どもの笑顔がこのまま続けばいいなと率直に思いました」



※写真はイメージです。

活躍する卒業生

Y.Iさん

- ・2008年3月 近江兄弟社高校卒業
- ・2010年3月 京都文教短期大学児童教育学科卒業
- ・現 在 高島市なないろ保育園勤務(2歳児担任)

Q.保育士になろうと思ったきっかけは？

A. 高校生の頃から決めていました。子どもが好きで、子どもと遊べて楽しそうだなって。でも実際に働いてみると、どうしたら子どもが伸びるかを考えたり、安全に配慮をしなければいけなかったり、ただ「遊ぶ」だけの仕事ではないことがわかりました。

Q.仕事をしていて大変なこと・うれしいことは？

A. 子どもがただ甘えているのか、本当にできないのかの見極めが難しいです。1人1人の発達を見て接し方を変えないといけないし、常に「これでいいのか」と迷います。うれしいのは、子どもの成長が見られることです。2歳児クラスの担任ですが、どんどん色んなことができるようになるのを傍で見られるのが楽しいです。

Q.高校生活をふりかえってみると？

A. 単位制には色んな人がいて、その中で人間関係を学べたことが貴重な経験です。保育者として、保護者や子どもに対する接し方や言葉を考えないといけないのですが、高校のときに友達への声かけの仕方で悩んだりしたことが役立っています。

Q.最後に、後輩へのメッセージを。

A. 中学校時代は登校しづらい時期もありましたが、高校では支えてくれる友達や先生がいて、休まず通うことができました。今でも仲良く話せる友達ができたことが財産です。高校で一生涯つきあえる友達を見つけてください。

